

4-1-16 医療情報室

1 概要

医療情報室の業務内容は、電子カルテシステムの管理だけではなく、当センターの診療・業務の円滑な運用や臨床研究の支援など多岐にわたっている。また、成育医療ネットワークにおける情報の収集・発信なども積極的に行っている。

2002年の開院以来稼働してきた電子カルテを含む病院情報システムは、今年度に基幹部分の更新を迎え、20年3月から新しい電子カルテシステムが稼働を開始した。

今後は、更新される部門システムとの連携を向上させつつ、病院情報システムの完成度を高めつつ、当センターで実用化した新技術の均てん化を推進したい。また蓄積されたデータの可用性を高め、病院の経営管理や臨床研究などに貢献していきたいと考えている。

なお、前年度からメールシステム保守等の業務に従事していた派遣職員が19年8月末で引き揚げたことにより実質的に1名の減となった。

2 活動内容

2.1 病院情報システムの運用管理

(a) 日常運用管理業務

利用者IDの登録・削除管理、利用権限の見直し、越権・特殊操作の確認および承認、重複ID患者の整理、テンプレート・文書の登録、一部マスタの更新作業等の業務をおこなった。業者との定例会議の開催、院内での電子カルテWGの開催等を行なっている。

(b) 不具合対応

システムの欠陥・不具合・障害の集約、障害時の復旧作業指揮、業者との交渉等に従事した。

(c) ベッドサイド端末のコンテンツ更新

幹部職員の挨拶、入院案内、院内コンサート録画をビデオオンデマンドシステム向けに掲載した。医師の顔写真や診療科の紹介、交通機関の時刻表等を更新できる体制を整えていた。しかし病院情報システムの更新と前後して体制の再構築が必要となってきた。

2.2 病院情報システムの更新

かねてから作成してきた調達仕様書をもとに、19年4月に病院基盤システム・病院情報システムの仕様書案意見招請、19年5月に入札説明会を開催、6月に業者決定、開発期間を経て20年3月に新しい病院情報システムが更新稼働した。更新に伴う2日間のシステム停止時には、LANを用いた代替運用手段を開発・運用した。

2.3 データ後利用システム(EDR)の構築

今年度は、電子カルテシステム更新とともに、電子カルテに蓄積された診療データおよび医事データを用いて病院経営管理や臨床研究などを支援するデータウェアハウスを構築している。このデータベースは長期間にわたり利用者のニーズに応じて、さまざまなデータを提供することが可能になっている。

2.4 経営管理システム(MOM-HAT)の試行

医事レセプトデータ、財務会計データ、人事給与データ、物流管理データなどを用いて病院経営管理システムを構築している。このシステムは、診療行為明細ごとに収入と原価を算出し、患者別、疾病別、診療科別といった目的に応じた収支分析を可能にしている。このシステムの稼働により、診療行為ごとに収支を把握することが可能になり、患者別・診療科別・病棟別・疾病別・DPCなど様々な切り口で集計した収支データを提供できるようになっている。

2.5 HOSPnet(国立病院ネットワーク)サブセンター成育の業務

以下の業務内容を行っている。

- ① 専用ホームページの運用・管理
- ② 名簿（医師、研究者、施設長）登録システムの運用・管理
- ③ メールおよびメーリングリストシステムの整備・管理
- ④ 各種マスター（病名、医薬品、医療材料）検索システムの整備・管理
- ⑤ 臨床データ収集システムのメンテナンスおよび運用管理。

2.6 診療情報2次利用の環境整備および情報提供

当センターでは、倫理委員会や診療情報管理委員会が設置されているため、診療データを利用する場合は申請・許可などの手続きが行われている。許可を得た利用者に対し、医療情報室から関連情報を提供することとなっている。平成19年度では診療情報2次利用の申請は72件あった。

2.7 職員への情報研修・教育

新任職員向けに、情報システム基礎研修、情報セキュリティ研修を毎月実施している。また随時医療安全研修等も行っている。

e ラーニングシステムやイントラネット向けの動画教材、講演会等のビデオオンデマンド用動画作成も行った。

2.8 病院情報システムの紹介

当センターにおける病院情報システム、電子カルテシステムなどの見学・視察として、国内外の15件の見学者を受け入れた。

成育医療研修、日本看護協会の研修、厚生労働省の新任職員・インターンシップ学生、海外企業の視察団など、対外向けの見学・研修にも対応した。

2.9 院内ネットワーク管理

- (a) 院内イントラネットWebの管理・掲載作業。院内イントラネットの掲載記事については、年間で約153件依頼を受け、掲載・更新作業を行った。
- (b) 院内のコンピュータウイルス対策の中央管理
- (c) 医局向けのIPアドレス管理業務、病院端末へのコンピュータ周辺機器の増設、ソフトウェア追加等の管理
- (d) インターネット環境のセキュリティを含む維持管理

運営部が主体となっておこなわれた外部向けWebサーバ、メール中継サーバ、ファイアーウォール等の更新作業への協力を行なった。

2.10 スタジオ設備の運用・ボランティアの支援

講堂やロビーでのコンサートを院内ベッドサイド端末へ生中継した。また講堂での講演会の録画、ビデオ教材化を行った。

2.11 電子カルテ上の臨床治験実施への対応

治験モニタリングへ協力し、随時に必要な資料を打ち出し、臨床治験を支援している。また、治験テンプレートの新規登録などメンテナンス作業を行っている。

2.12 病院基盤システムの運用支援

運営部が管理を担当しているメールサーバの更新、グループウェアやWebサーバの保守・更新作業の支援を行った。

2.13 部門システムの調達支援

病院情報システムと同時に調達した部門システムの調達作業の支援を行った。

2.14 その他の業務

診療情報開示のため、カルテ印刷依頼にも対応している。今年度では、依頼件数は68件であった。

3 研究活動

3.1 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究 医療安全・医療技術評価総

合研究 研究課題名：医療安全の推進を目的とした電子カルテシステムのユーザビリティ評価とユーザーインターフェースガイドライン構築に関する研究（主任研究者：山野辺裕二、分担研究者：相澤志優）

本研究では、3年計画の2年目として、従来の研究成果をもとに「電子カルテシステムの基礎的GUIガイドライン」を策定・公表した。

- 3.2 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 子ども家庭総合研究 研究課題名：子どもの病気に関する包括的データベースの構築とその利用に関する研究（主任研究者：原田正平、分担研究者：山野辺裕二）

子供の傷病に関する包括的データベースの構築において、既存電子カルテの応用可能性について研究した。

- 3.3 平成19年度成育医療研究委託事業 研究課題名：成育医療の長期追跡データの構築に関する研究（主任研究者：高山ジョーン一郎、分担研究者：相澤志優）

- 3.4 平成19年度成育医療研究委託事業 研究課題名：先天代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築（主任研究者：松原洋一、分担研究者：相澤志優）

- 3.5 平成19年度財団法人政策医療振興財団研究助成金 研究課題名：国立病院ネットワークにおける診療データの共有化に関する研究（主任研究者：相澤志優、分担研究者：山野辺裕二）

- 3.6 学会などの研究活動

関連学会誌へ研究論文の投稿及び学会発表等。